

単元	単元毎の評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第3部 日本のさまざまな地域			
2章 日本の地域的特色 (地理)	<ul style="list-style-type: none"> ○少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の②人口に関する特色を理解している。 ○日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ○①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観し理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ○日本の地域的特色を、①自然環境、②人口、③資源・エネルギーと産業、④交通・通信に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
3章 日本の諸地域 (地理)	<ul style="list-style-type: none"> ○幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ○自然環境、人口や都市・村落、産業、交通や通信、その他の事象などの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の諸地域において、それぞれ自然環境、人口や都市・村落、産業、交通や通信、その他の事象までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第4部 地域の在り方			
1章 地域の在り方 (地理)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。 ○地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

単元	単元毎の評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4章 近世の日本 (歴史)	<ul style="list-style-type: none"> ○武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ○江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ○産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ○社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
5章 開国と近代日本の歩み (歴史)	<ul style="list-style-type: none"> ○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ○開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ○自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ○我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ○近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。